



工事箇所

位置図

特記事項

(工事概要)

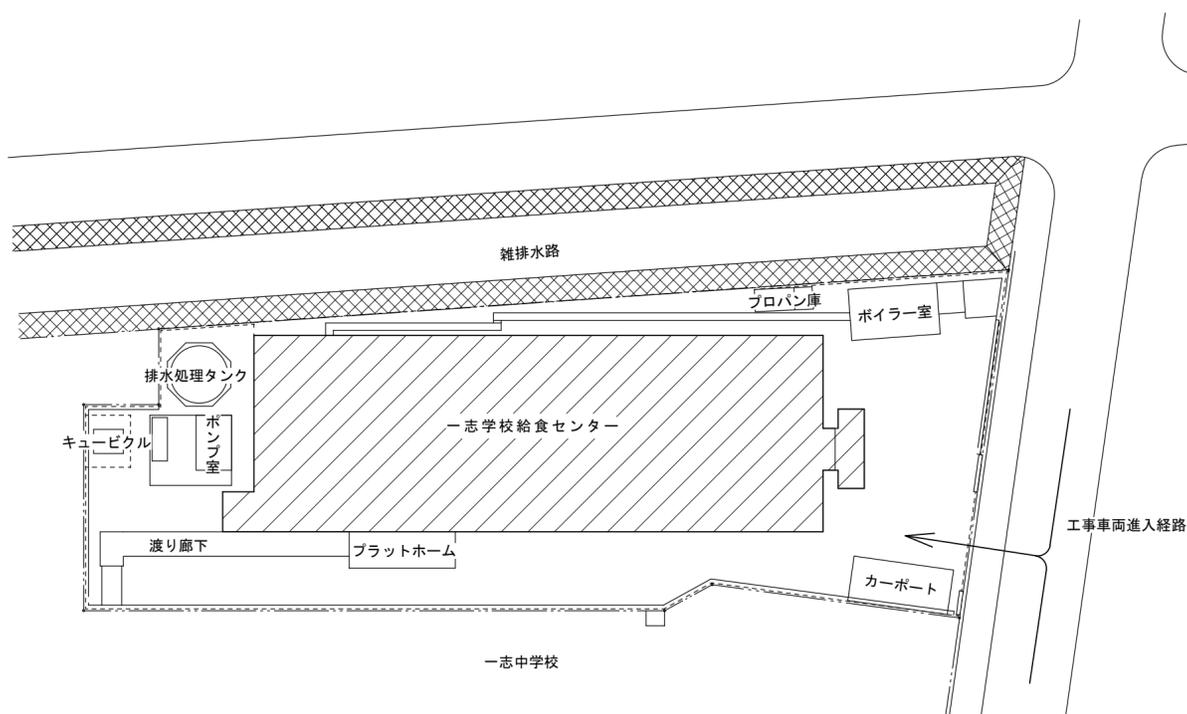
- ・空調機器の設置及び受変電設備の設置を行う。

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。
- ・本工事の屋内部分の施工にあたっては、原則令和5年3月18日から令和5年4月5日に施工を行うこと。
キュービクルの設置に伴う停電作業は、上記期間中、もしくは令和5年5月3日から令和5年5月7日で行うこと。
- ・騒音を伴う作業を行う工程は施設管理者と協議のうえ決定すること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手及び 工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

(解体撤去処分)

- ・本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。
- ・「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。



配置図 S=1/300

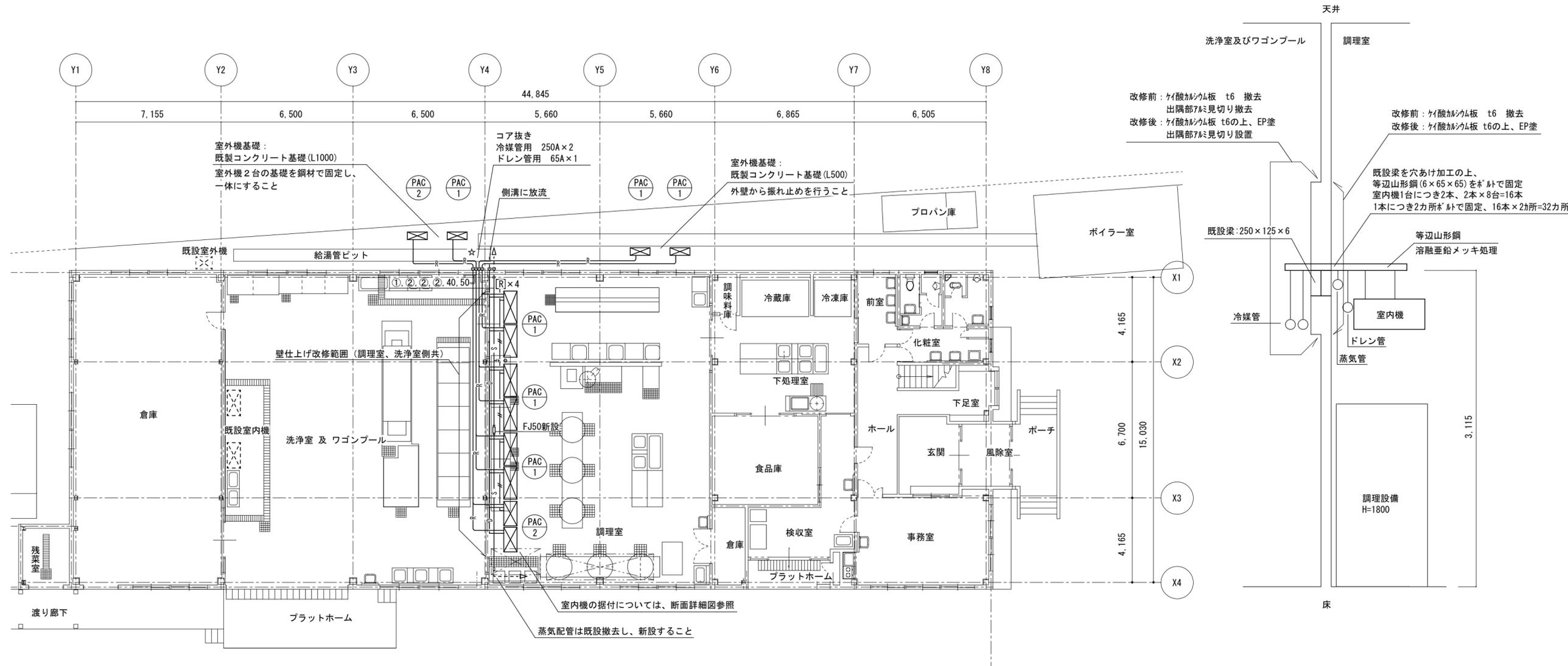


工事対象範囲を示す

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
- 独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市一志学校給食センター空調設備設置工事		縮尺 1/300
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 1/5



空調設備 1階平面図 S=1/150

断面詳細図 S=1/30

空調機器表 (新設)				
記号	形式・名称	仕様		台数
PAC-1	空冷ヒートポンプ式	冷房能力: 25.0kw	暖房能力: 28.0kw	3相200v 3
	パッケージエアコン	室外機基礎: 既成コンクリート架台		
	天吊形厨房用 同時ツイン	ワイヤードリモコン、他付属品一式		
PAC-2	空冷ヒートポンプ式	冷房能力: 14.0kw	暖房能力: 16.0kw	3相200v 1
	パッケージエアコン	室外機基礎: 既成コンクリート架台		
	天吊形厨房用 同時ツイン	ワイヤードリモコン、他付属品一式		
特記事項				
運転特性、能力はJIS条件による。				
空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。				
機器は同等品以上とする。また、グリーン購入法基準を適用するものとする。				
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。				

凡例		
図示記号	名称	備考
———	新設配管	
——— ———	新設配管接続部分	
—— R ——	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm) ガス管 : 20mm 保温仕様: ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
—— D ——	ドレン管	屋内露出: 結露防止層付硬質塩化ビニル管 (VP) 屋外露出: カラー硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
—— S ——	蒸気配管	配管用炭素鋼鋼管 (黒) 保温仕様: グラスウール保温筒+アルミガラスクロス
—— // ——	リモコン線	屋内露出: CVV-S 1.25-2C (HIVE28)
[R]	ワイヤードリモコン	金属製スイッチボックス
☆	コア抜き	

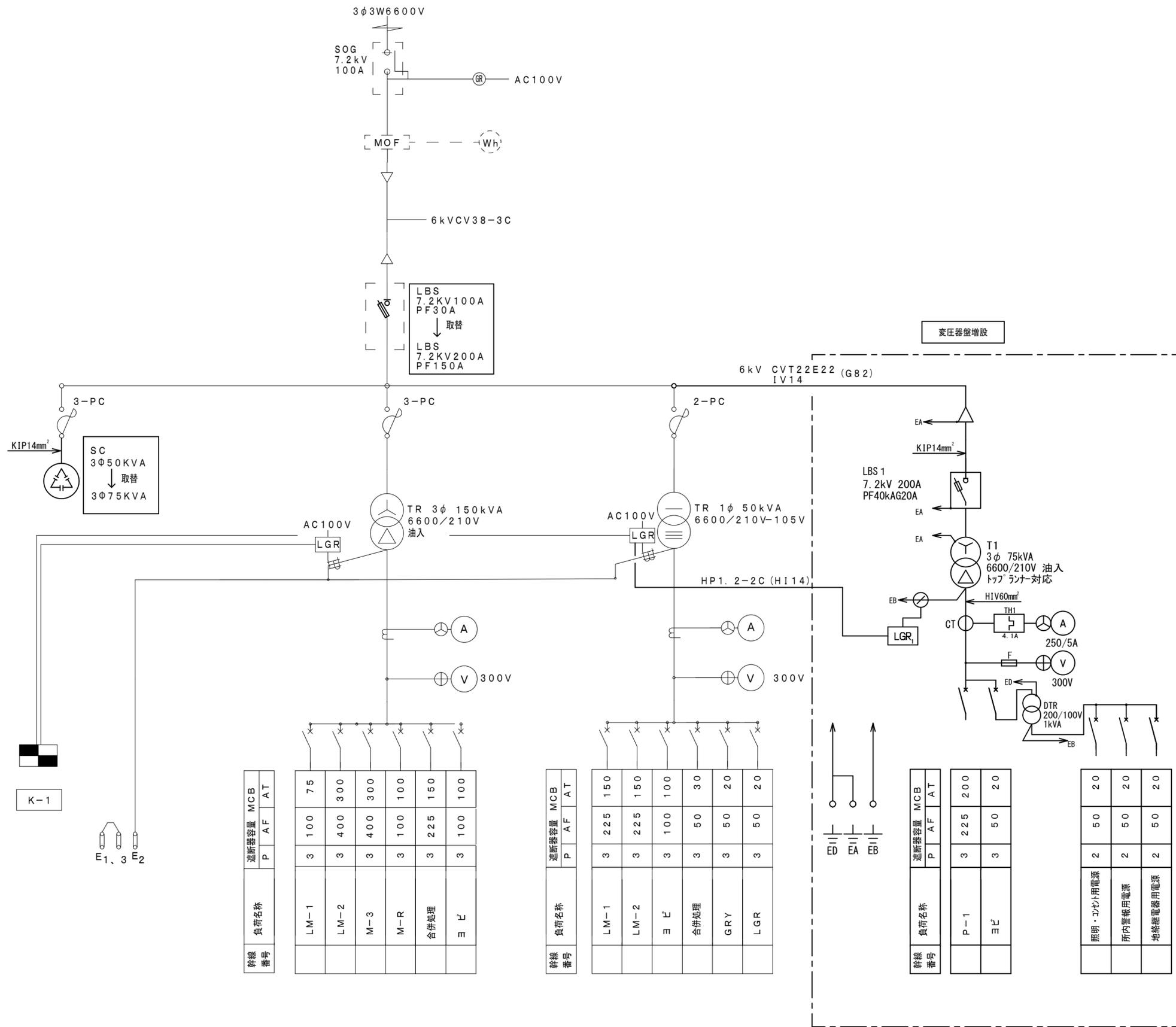
冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	室内外連絡線
①	φ9.52	φ15.88	VVF-2.0-3C
②	φ12.7	φ25.4	VVF-2.0-3C

※室内機架台、配管架台は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

空調設備工事要領	
1.	空調室内外機の新設をおこなう。
2.	室内外連絡線は冷媒管と抱き合わせとする。
3.	室外機はSUS製架台にて固定、Wパッドにて締付けること。
4.	防振ゴムシート (t=10以上) を敷くこと。
5.	室外機は耐震振れ止め、転倒防止を施す事。

※屋内の壁材およびコア抜きを行う外壁材は、アスベストが含有しているものとして作業を行うこと。

津市一志学校給食センター空調設備設置工事		縮尺 1/150, 1/30
図面名称	空調設備 1階平面図	原図: A 2
津市建設部営繕課		No. 2/5

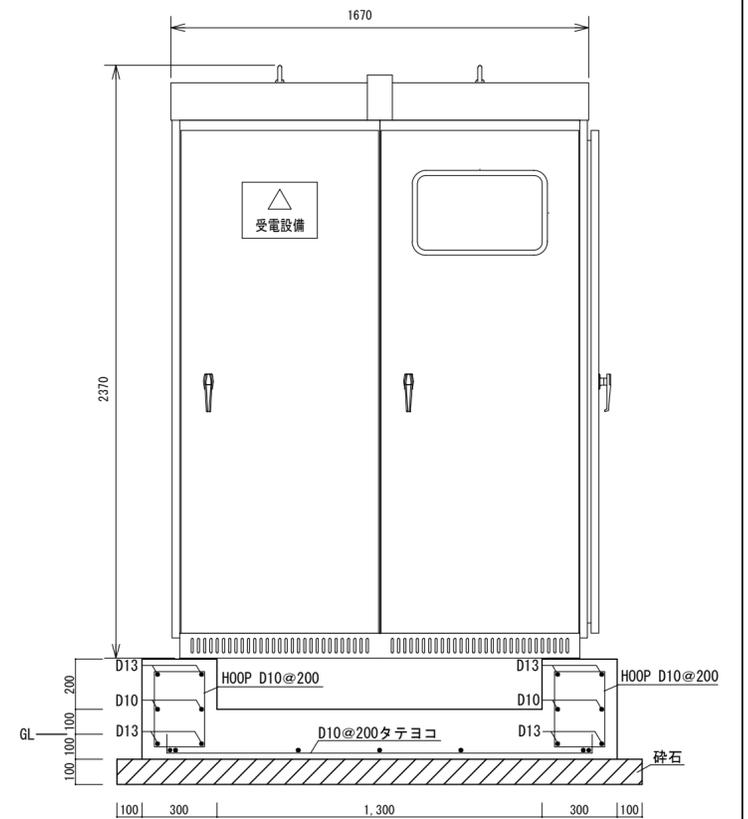
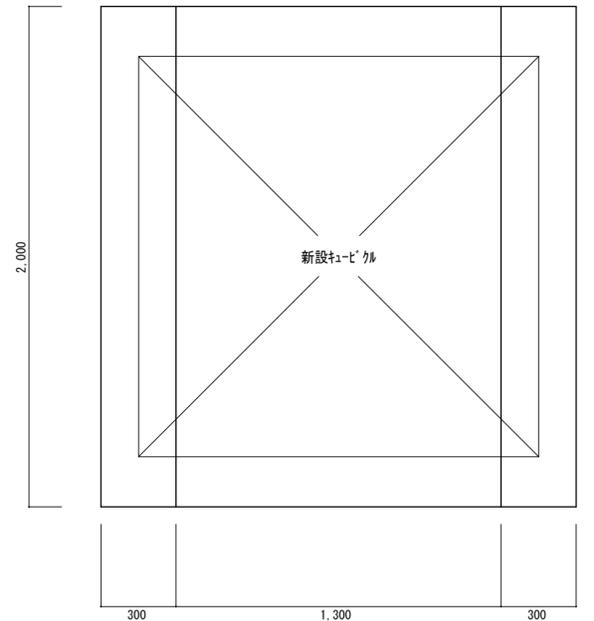


幹線 番号	負荷名称	遮断器容量 MCB			
		P	A F	A T	
	LM-1	3	100	75	
	LM-2	3	400	300	
	M-3	3	400	300	
	M-R	3	100	100	
	合併処理	3	225	150	
	E ㄥ	3	100	100	

幹線 番号	負荷名称	遮断器容量 MCB			
		P	A F	A T	
	LM-1	3	225	150	
	LM-2	3	225	150	
	E ㄥ	3	100	100	
	合併処理	3	50	30	
	GRY	3	50	20	
	LGR	3	50	20	

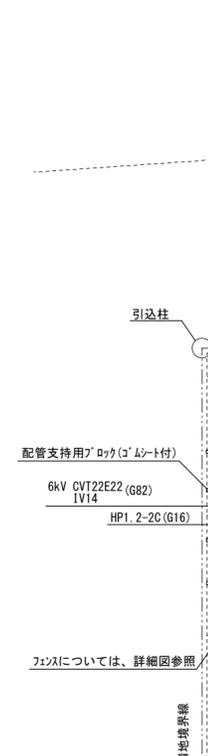
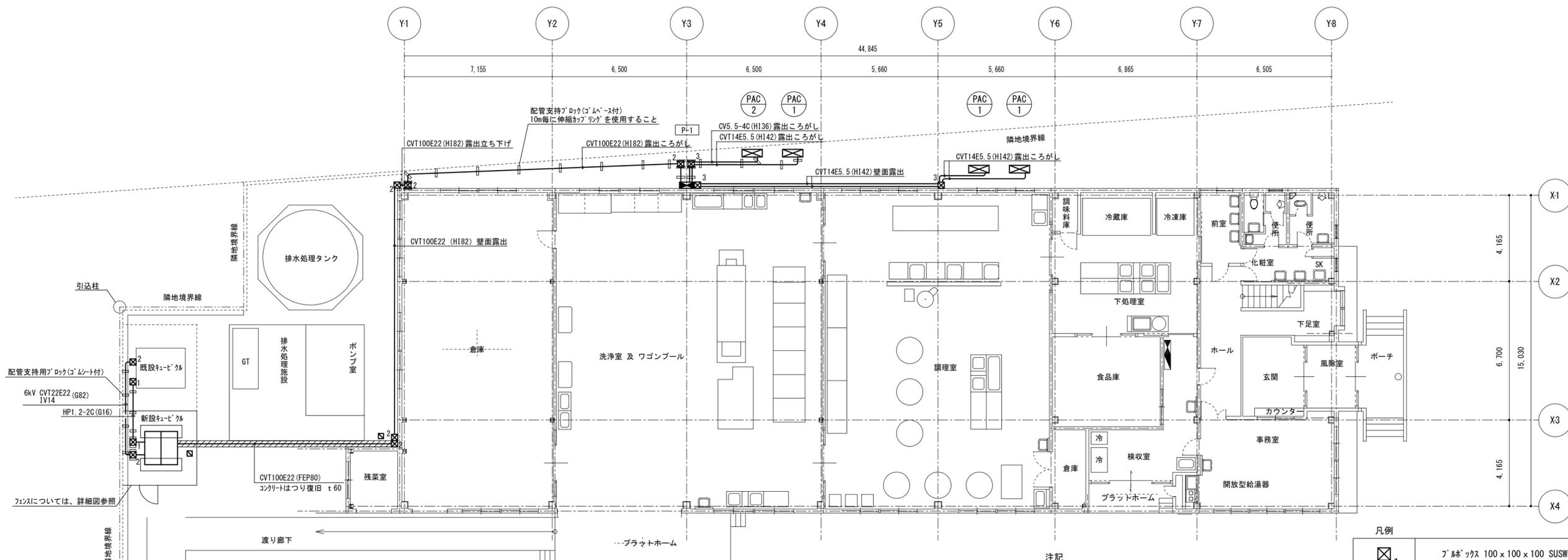
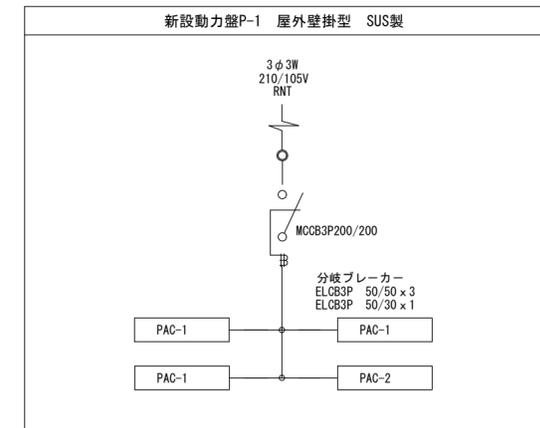
幹線 番号	負荷名称	遮断器容量 MCB			
		P	A F	A T	
	P-1	3	225	200	
	E ㄥ	3	50	20	

照明・サーバ用電源	2	5.0	2.0
所内警報用電源	2	5.0	2.0
地絡継電器用電源	2	5.0	2.0



屋外型キュービクル基礎 参考図
※ゲタ基礎開口部には、防獣網を設置すること

津市一志学校給食センター空調設備設置工事		縮尺	NS
図面名称	受電設備図	原図	A 2
津市建設部営繕課		No.	3/5



注記

※QB増設に伴う停電時の電力として
1φ3W 3kVA程度の仮設電源を電力会社より引き込み、
検収室電灯盤へ送電する事
仮設ケーブルCVT14 70m
仮設引込開閉器 30A 1個 を見込むこと

※QB増設に伴う停電時の電力として
3φ3W 2kW程度の仮設電源を電力会社より引き込み、
検収室動力盤へ送電する事
仮設ケーブルCVT14 70m
仮設引込開閉器 30A 1個 を見込むこと

凡例

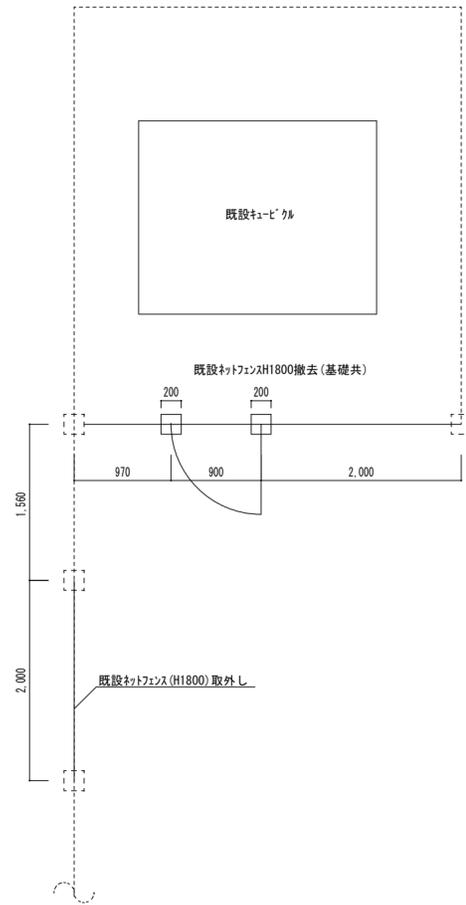
<input checked="" type="checkbox"/> 1	ブチックス 100×100×100 SUSWP
<input checked="" type="checkbox"/> 2	ブチックス 400×400×400 SUSWP
<input checked="" type="checkbox"/> 3	ブチックス 300×300×300 SUSWP
<input type="checkbox"/>	地中埋設標 (鉄製)

※盤、機器への配線は金属製可とう電線管を使用すること。

電気設備 1階平面図 S=1/150

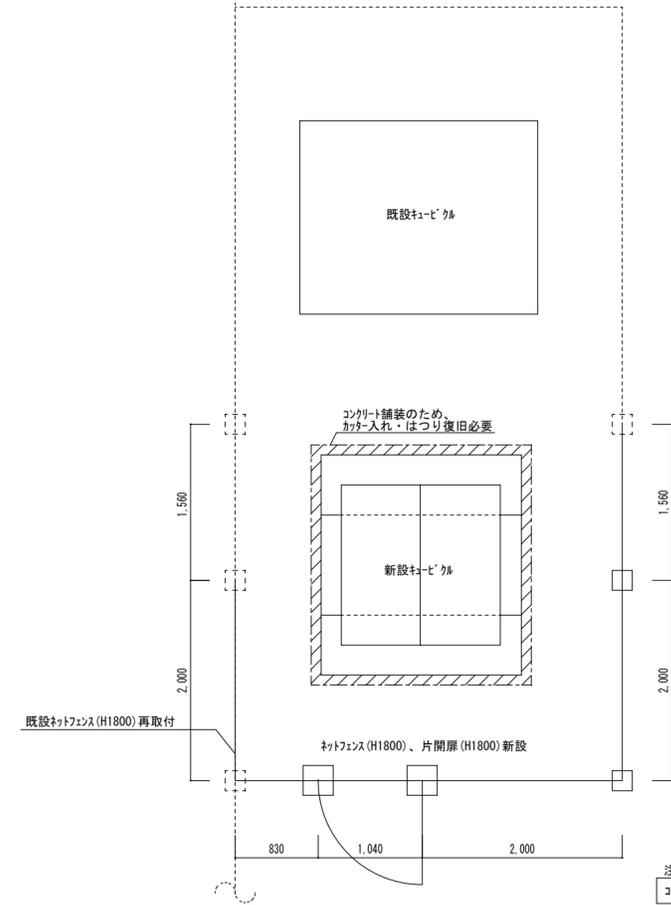
津市一志学校給食センター空調設備設置工事		縮尺	1/150
図面名称	電気設備 1階平面図	原因	A 2
津市建設部 営繕課		No.	4/5

改修前



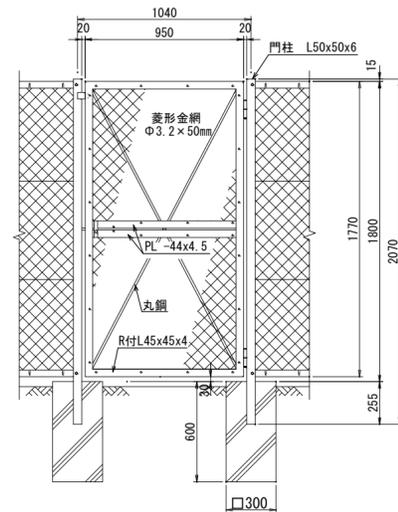
【改修前】フェンス詳細図 S=1/50

改修後

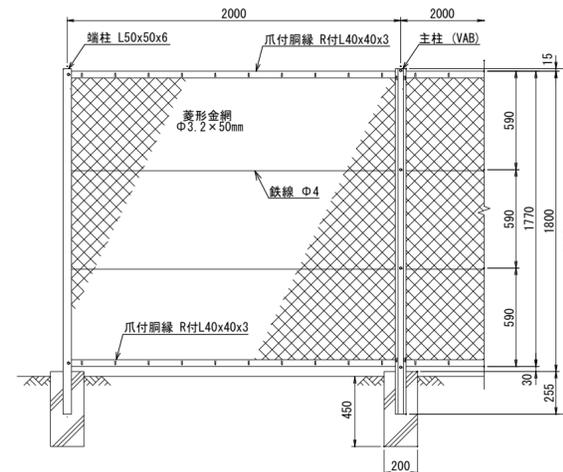


注記
コンクリート舗装のため、フェンス基礎周リカッター入れ・はつり復旧必要

【改修後】フェンス詳細図 S=1/50



フェンスH1800、片開扉、フェンス基礎断面図 S=1/30



津市一志学校給食センター空調設備設置工事		縮尺 1/50, 1/30
図面名称	詳細図	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 5/5